

地域おこし協力隊活動報告

国際交流プロジェクトマネージャ

蔣 静文

2025年3月19日

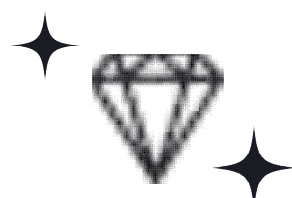
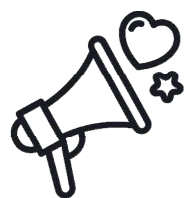
目次



- 01 協力隊になったきっかけ
- 02 活動内容①中学生海外派遣事業
- 03 活動内容②「しょう会話」
- 04 活動内容③外国人one stop窓口
- 05 活動内容④協力隊同士との交流
- 06 来年度に向けて
- 07 私としての課題

協力隊になったきっかけ

夕張市で観光協力隊を経験しながら、中華料理体験教室や中国語教室、市内外の外国人と連携した異文化交流イベントなどを開催しました。



事前研修10回

しおりの作成、日常英会話練習、中学生が現地で行う
プレゼンテーションに関する原稿作成・指導現地協力者とのやり取り全般（日程・ホストファミ
リー調整、両方生徒達の手紙連絡等）

事後研修6回

帰国報告会に向ける準備、研修報告書の編集



事前研修

簡単な英会話練習、
中学生が現地で行うプレゼンテーションの指導

引率の一員として現地訪問、
現地で通訳及び生徒達のケア

事後研修

帰国報告会に向ける発表準備、研修報告書の編集



03

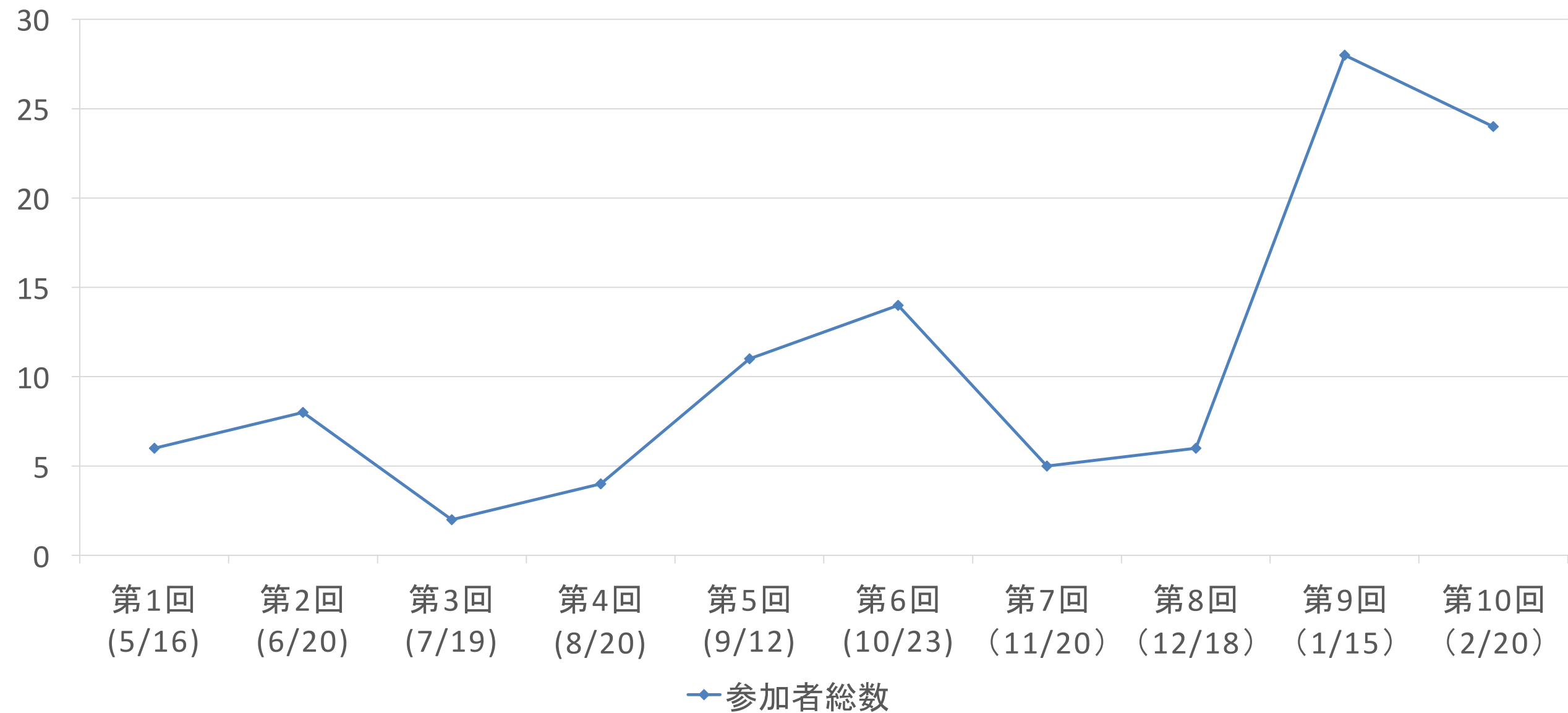
活動内容

②多文化共生サロ ン「しょう 会話」



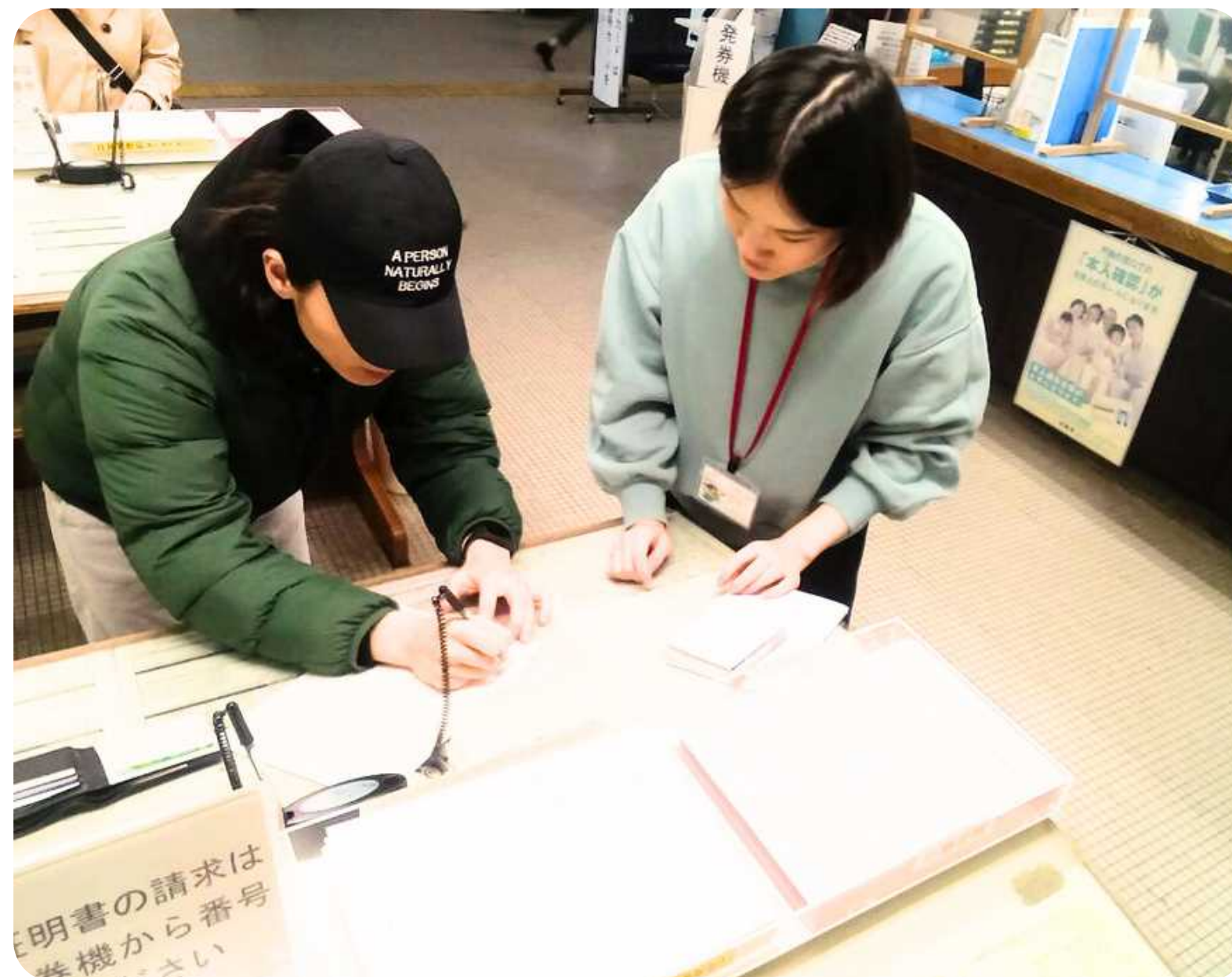
[「しょう会話」参加者人数統計]

参加者総数



令和7年2月まで参加者数は108人、
うち2回以上参加したリピーターが12人

③外国人ワンストップ窓口



令和6年度は17件
(現時点まで)



来年度に向けて

しょう会話

PART 1

更なる周知

- 現行のチラシ配布・SNS情報発信・メール周知
- 参加者による口コミの拡散
- 企業訪問

PART 2

内容を充実化

- ゲームを増やす
- 参加者が順番に主役になる(5～10min)
- 日本での生活ルールの紹介

PART 3

地域連携

- 役所内部他部署
(行政サービス紹介)
- 地元団体・お店(様々な背景を持っている参加者からつながってもらう)



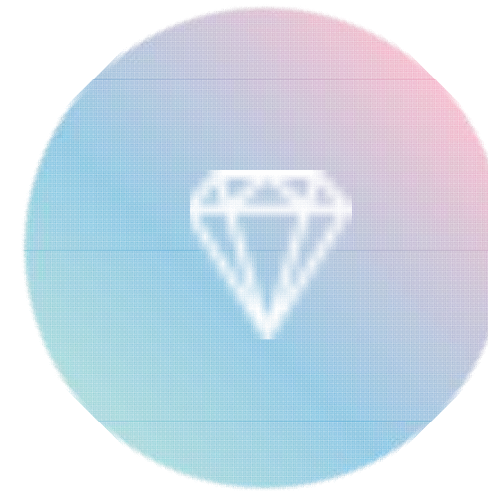
市職員として

役所のルールを理解
するのに苦戦している



協力隊として

地域に継続的に溶け
込みのノウハウが足り
ない



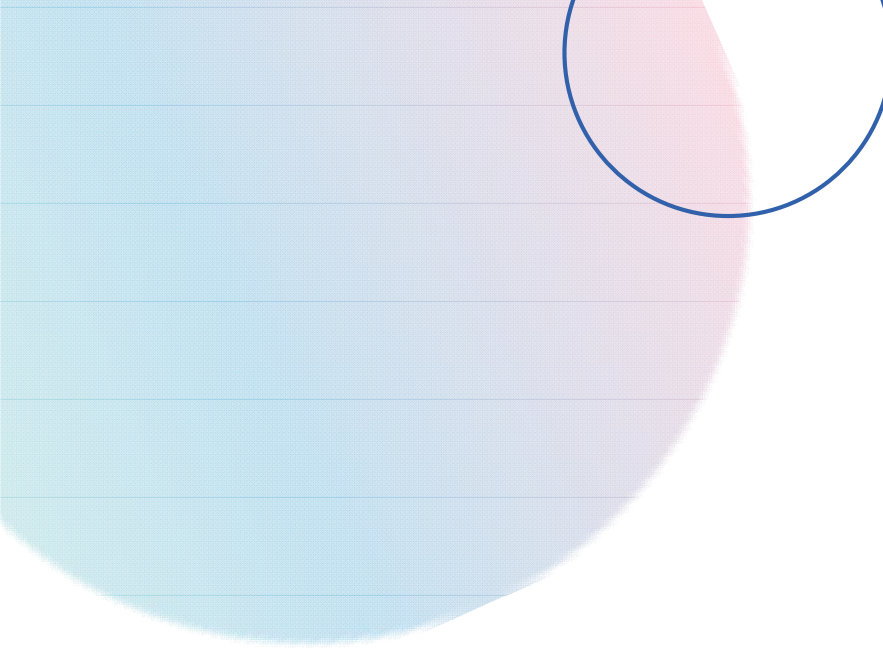
社会人として

経験が浅い
ビジョンが狭い



外国人として

日本のビジネスマナー
等を詳しくない
生活のルールは理解
しきれていない



まとめ

先ほど紹介させていただいたとおり、私は国際交流に関することに興味があり登別市に移住してきました。協力隊任期後にも続けたいと考えております。

今までの活動や今後の考えについて紹介しましたが、今日の珍しい機会を利用したくて、ぜひ皆様のご意見・アドバイスをいただければ幸いです。

ご清聴ありがとうございました。

